

### 研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	A 型および E 型肝炎ウイルスに対する抗体の作製 (A 型および E 型肝炎ウイルス特異的モノクローナル抗体の作製)
研究期間 (西暦)	2019 年度 ～ 2023 年度
研究機関名	国立感染症研究所
研究責任者職氏名	主任研究官 寺原 和孝

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明	
1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等	<p>A 型肝炎および E 型肝炎の診断と治療には、肝炎ウイルスに結合する抗体というタンパクが重要な役割を果たしますが、現状では使用可能な抗体の種類が限られており、新たな診断・治療法の確立が困難な状況です。これら肝炎ウイルスに対する抗体は、過去に感染履歴やワクチン接種歴のある健康な方が保有していることが知られています。そこで私たちは、提供いただいた血液に含まれるリンパ球を利用することで、これらウイルスに対する新たな抗体を作製して、新しい診断法や治療法に役立てていきたいと考えています</p>
2 使用する献血血液等の種類・情報の項目	<p>献血血液等の種類：全血（規格外） 献血血液等の情報：なし</p>
3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名	<p>共同研究機関はありません。</p>
4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》	<p>献血血液等のヒト遺伝子解析：□行いません。 ■行います。 献血血液から血漿とリンパ球を分離します。血漿を用いて肝炎ウイルスへの特異性を調べ、それを認識するリンパ球を分離します。特殊な技術を用いて、このリンパ球が発現する抗体タンパクを試験管内で産生させます。産生された抗体のウイルス抗原に対する結合能等を調べ、診断や治療への適正を判断します。また、血漿は抗体検査での対照群としても活用します。なお、本研究では献血血液提供者様の抗体遺伝子を解析しますが、抗体遺伝子は後天的であり、献血血液提供者様の家系を特定することはできません。</p>
5 献血血液等の使用への同意の撤回について	<p>研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。</p>
6 上記 5 を受け付ける方法	<p>「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。</p>

受付番号	31J0008
------	---------

本研究に関する問い合わせ先

所属	国立感染症研究所 免疫部
担当者	寺原 和孝

電話	03-4582-2716
Mail	tera@nih.go.jp